

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説 700日 県政の革命児!

後藤かつみ

県議会だより

vol.16

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com<http://www.ccrgoto.com/>H23年度
予算

「積極型」予算の中身を検証

危機感を持った雇用対策か？

本県の有効求人倍率（高い程働き口がある）は0.7倍、正社員に至っては0.4倍と、若者を中心に極めて厳しい雇用環境が続いています。

H23年度予算では、

国の雇用対策予算を活用して、安定した職に就いてない若者を雇用する企業に対し、給料（6カ月）と研修等の全費用を県が負担すること、正社員化を促す「再チャレンジ支援

事業」を新設。使い勝手の悪かった国の雇用

対策予算が、地方の実情に合わせて柔軟に使えるようになったことは、政権交代の一つの成果と言えるかもしれません。

また若者就職支援の中核を担う「ジョブカフェぐんま」についても予算を拡充してスタッフの増員を図るなど、県独自の若者支援策も一定の評価ができる中身となっています。



真剣に予算をチェックする後藤かつみ

雇用対策

- 「再チャレンジ支援事業」 2億7,000万円
企業に対し、若者を雇用する給料（6カ月）と研修等の全費用を県が負担し、正社員化を支援
- 介護雇用プログラム 10億円
施設に対し、雇用する給料（最長2年）、介護福祉士・ホームヘルパー2級の取得費用を県が負担
- 若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）の予算拡充（800万円）によるスタッフ増員



若者との交流を通じて厳しい雇用情勢を現場から聞く

公共投資の転換は図られているか？

雇用を創出するためには、「新たな産業の芽」を育てる公共投資への転換が必要です。

特に、これまで国の景気対策予算に頼って行っていた「家庭用太陽光パネル設置補助」について、国の予算が無くなる来年度どうするか注目されましたが、H23年度は県単独予算で継続したことは英断であると評価できます。

新たな公共投資

- 家庭用太陽光パネル設置補助 3億2,000万円
24,000円/kw（最高80,000円）
4,000軒分
- 電気自動車充電器設置補助 4,000万円
県内20カ所設置予定
- ぐんまの木で家づくり支援 4億円
県産木材住宅1戸当たり
最高80万円の補助

に乗り出していることに呼応し、充電器設置によるインフラ整備を

進めるなど、徐々にではありますが、未来型公共投資に道筋をつける内容となっています。

財政健全化の後退は無いのか？

本県の歳出予算の伸び率は、地方自治体が予算編成の基準とする「地方財政計画」の伸び（0.5%）を大きく上回る1.8%となっています。特に公共事業費等の投資的経費については、地財計画が▲5.1%、隣の栃木県が▲11.9%と縮減を進める中、本県は3.8%増という「公共事業積極型」の予算となっています。その

基金を昨年度より100億円も多く取り崩して財源に充てています。

景気回復を受けて、栃木県のように財政健全化に舵を切る自治体が多い中、本県は逆に「貯金を一気に吐き出す」形での予算編成となっています。リベラル群馬は本会議の中で、「貯金がゼロになったらどうするのか？」と財政健全化の点で懸念があることを指摘しました。

「ジョブカフェぐんま」における若者就職支援の現状をくまなく視察。

